

創

—第84回—

別府市長
長野 恭紘

旅立ちの日に

春は旅立ちの季節です。

大学の卒業式の祝辞で私はある動画のエピソードをご紹介します。タイトルは『人生をピンに例えると』です。今回はその事をご紹介します、旅立ちを迎える皆さんへのエールに変え、2期目の締めくくりとします。

教授が学生達を前に空のピンを持ち立っています。教授は空のピンにゴルフボールを目一杯入れて、「このピンは満杯かな？」と問いかけます。学生達は隙間だらけのピンを見て、「いいえ」と答えます。

今度はその隙間に小石を目一杯入れて、「これで満杯かな？」と教授が再び問いかけます。学生達はまだ微妙に空白の目立つピンを見て「いいえ」と答えます。

今度はその隙間に砂を目一杯入れて、「今度こそ満杯かな？」と教授が三たび問います。学生達はこれ以上本当に何も入る余地のないピンを見て「はい」と答えます。

そこで教授はおもむろにビー

ルを持ってきます。そして満杯だと思われたそのピンの中にビー球をたくさん注ぎ込みます。まだ入る隙間があったことを見て笑いがおきます。

教授は学生達にこう伝えます。「このピンは人生を意味しているんだ。ゴルフボールは家族や友人や健康など、人生で一番大切なもの。小石は仕事や趣味など、ある程度大切なもの。砂はそれ以外の些細なこと。もし砂を先に入れるとゴルフボールや小石が入るスペースが無くなってしまいます。人生と一緒さ。重要じゃないコトに時間を使いすぎると本当に大切なものを使う時間が無くなるんだ。自分の幸せに何が 필요한かを整理してほしい。ゴルフボール、つまり最も大切なコトを優先するんだ。優先順位をつけよう。些細なコトだらけの世の中だからさ」そう教授が話し終わると学生から質問がきます。

「ビー球は何を意味してるの？」教授は「良い質問だね。どれだけ満杯に、つまり忙しく見えても友達とビー球を飲む素敵な時間はあるってことさ」

この4年間、市民の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

(4月7日執筆)

フォトベっぷ



宇宙の夢を沸かせよう—3月11日、宇宙への興味や関心を高めてもらうため「沸く湧く宇宙フェス in 別府」を開催しました。大学生による宇宙ビジネスプランの発表や別府の温泉を活用したロケットの制作・打ち上げなどを行い子どもから大人まで楽しみました。



別府から世界へ—3月16日、シリコンバレーと連携した起業家育成プログラム「BEPPU SPRING VALLEY 2023」のピッチイベントが開催され、12人がビジネスプランの発表を行いました。選ばれた3社は専門家による伴走支援を受け、事業の成長・拡大を目指します。



復活！国際クルーズ船—国際クルーズ船が約3年4か月ぶりに別府国際観光港に寄港しました。3月17日はダイヤモンド・プリンセス、18日はセブン・シーズ・エクスプローラーが来航しました。今後も様々な国内外のクルーズ船の寄港が予定されています。



湯ぶっかけで大興奮—3月31日～4月3日に「別府八湯温泉まつり」を開催。2日の「湯ぶっかけまつり」では、令和6年の別府市制100周年へのカウントダウンとして準備した99トンの温泉が、参加者目掛けてぶっかけられ、弾ける笑顔と温泉で会場が包まれました。